

ルーマニア月報

2024年9月号

本月報はルーマニアの報道をもとに、
日本大使館がとりまとめたものです。

令和6年10月11日
在ルーマニア日本国大使館作成

主要ニュース

【内政】

- 9月2日、第二期通常議会が開始。スチウ下院議員（PSD）が下院議長に選出。上下副議長も選出。
- 上院（9月2日）・下院（9月3日）はウクライナへのパトリオットミサイルシステムの供与を認める政府法案を可決。
- 9月13日夜から14日にかけて、ルーマニア東部のガラツィ県とヴァスレイ県を中心に暴風雨ボリスによる洪水が発生。7名が死亡、数千世帯が浸水し、数千棟の家屋が倒壊し、約15,000名が避難。

【経済】

- 9月3日、ブルドウジャ・エネルギー相及びアブルデアン首相府官房長は、アゼルバイジャンからジョージア、ルーマニア、ハンガリーを經由してグリーン・エネルギーを開発・送電する「緑の回廊」の第8回閣僚会議を主催し、本事業の投資を実施するプロジェクト会社「Green Energy Corridor Power Company」の本部をブカレストに設置することを決定した。
- 9月11日、国家統計局は、8月のルーマニアのインフレ率が5.1%（7月は5.4%）だったと発表。
- 9月19日、国家戦略・予測委員会は、2024年のルーマニア経済成長率予測を従来の3.4%から2.8%に下方修正。
- 9月26日、欧州復興開発銀行は、2024年のルーマニアの経済成長率予測を1.4%に下方修正。

【外政】

- 9月17日、ルーマニアの欧州委員会委員候補であったロクサーナ・ムンザトゥ氏は、新欧州委員会の「人材・技能・準備」担当の上級副委員長（兼欧州委員）に選出。
- 9月24～25日、ヨハニス大統領は、ニューヨークで開催された第79回国連総会に出席し、25日には国連総会本会議で演説を実施。

【防衛・安全保障】

- 9月8日及び9月27日、ロシア軍の無人機がルーマニア領空内を通過した。
- 9月18日、議会宮殿にてブカレスト9（B9）国防大臣会合が開催され、NATOの防衛力強化とロシアの脅威に対する対応、ウクライナ支援の重要性などを含んだ、B9国防大臣共同声明を採択した。

【我が国との関係】

- 9月2日、ルーマニアを公式訪問中の長浜博行参議院副議長、谷合正明参議院議員、井上哲士参議院議員は、ルーマニア議会上院を訪問し、チウカ上院議長、クンペアヌ副議長、アナスターセ上院事務局長と会談。
- 9月3日、ルーマニアを公式訪問中の長浜博行参議院副議長、谷合正明参議院議員、井上哲士参議院議員は、首相府を訪問し、チョラク首相と会談。
- 9月13～15日、ブカレストのナショナル・アリーナにてEast European Comic Conが開催され、日本国大使館、日本政府観光局、日本貿易振興機構等が出展。
- 9月18日、片江大使はバルブ農業・地方開発相を表敬訪問。
- 9月30日、ポロシュ財務相を表敬訪問。

内政

● 議会の会期開始、下院議長・上下院副議長の選出

- 9月2日、第二期通常議会が開始。
- スチウ下院議員（PSD）が下院議長に選出されると共に、上院副議長、下院副議長がそれぞれ選出。そのうち、ツオイウ下院副議長（USR）及びポパ下院副議長（PSD）はルーマニア日本友好議連のメンバー。副議長の任期はこの議会会期限り。

● ウクライナへのパトリオットミサイルシステムの供与法案可決

- 上院（9月2日）及び下院（9月3日）はそれぞれウクライナへのパトリオットミサイルシステムの供与を認める政府法案を可決。AURは反対票を投じた。

● 大統領選挙の立候補者

- 9月、大統領選挙への出馬表明が相次いだ（立候補届は10月5日締切り。）。立候補者は以下の通り。
 - ◇ 政党候補：チョラク首相（Marcel Ion Ciolacu）社会民主党（PSD、中道左派、与党）、チウカ上院議長・前首相（Nicolae Ciuca）国民自由党（PNL、中道右派、与党）、シミオン下院議員（George Nicolae Simion）ルーマニア人統一同盟（AUR、極右）、ラスコニ・クンブルング市長（Elena-Valerica Lasconi）USR、ケレメン下院議員（Hunor Kelemen）UDMR、オルバン下院議員・元首相（Ludovic Orban）「右派の力」党、テルヘシュ欧州議会議員（Cristian Vasile Terhes）ルーマニア国民保守党、プレドイウ元対外情報庁長官代行（Silviu Predoiu）国民行動連盟党、ポペスク獣医師（Sebastian Constantin Popescu）新ルーマニア党、ベルタラン＝パクラル実業家（Alexandra-Beatrice Bertalan-Pacurar）国家アイデンティティのための代替案党
 - ◇ 無所属候補：ジョアナ前 NATO 事務次長（Mircea Dan Geoana）無所属、ディアコネスク元法相・外相（Cristian Diaconescu）無所属、ビルチャル元副首相（Ana Birchall）無所属、ジョルジエスク大学教授（Calin Georgescu）無所属、
- なお、ショショアカ欧州議会議員（SOS、極右）は大統領選挙への立候補を届け出たが、憲法裁判所は同人の大統領候補登録の取り消しを決定。

● 暴風雨ボリスによる被害状況

- 9月13日夜から14日にかけて、ルーマニア東部のガラツイ県とヴァスレイ県を中心に暴風雨ボリスの影響で歴史的な洪水が発生。最も甚大な被害を受けたのはガラツイ県で7名が死亡、数千世帯が浸水し、数千棟の家屋が倒壊し、約15,000名が避難。
- 国家管理局「ルーマニア水域」は、ヴァスレイ県では一晩で1年分に当たる降水量を観測し、ガラツイ県では100年に一度の洪水が発生したと発表。他方、同局はガラツイ県での壊滅的な洪水は2つのダムが決壊が原因であるとも主張。
- 9月13日にルーマニア全土に大雨警報が発出され、チョラク首相は洪水被害を受けた家庭に最大1万レイを支給する旨発表。
- チョラク首相、チウカ上院議長、プレドイウ副首相兼内務相、フェケット環境・水利・森林相、アラファト内務省緊急事態総局次官等の多くの政府要人が被災地を訪問し、被災者支援を表明。

● 世論調査の結果

- Insomar-Avangarde による世論調査（調査実施期間 9 月 15～27 日、対象者：1,100 名、統計上の誤差は±3.1%）
 - ◇ 大統領選挙：チヨラク首相（PSD） 30%、チウカ上院議長（PNL） 17%、ジョアナ前 NATO 事務次長（無所属） 15%、ラスコーニ・クンプルング市長・USR 党首（USR） 14%、シミオン AUR 党首（AUR） 11%、シヨシオカ欧州議員・SOS 党首（SOS） 7%、ケレメン・フノール UDMR 党首（UDMR） 2%
 - ◇ 議会選挙：PSD 33%、PNL 22%、USR 15%、AUR 12%、SOS 7%、UDMR 5%、PMP 2%、REPER 1%

【政党略称】PSD：社会民主党、PNL：国民自由党、AUR：ルーマニア人統一同盟、UDMR：ハンガリー人民民主同盟、USR：ルーマニア救国同盟、PUSL：社会自由ヒューマニスト党

経済

(1) 主要経済統計とりまとめ（国家統計局、財務省、ルーマニア中央銀行 発表とりまとめ）

国家統計局（INS）

	2024/2	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8
貿易収支（億€）	-41.420	-66.990	-93.209	-122.883	-150.901	-180.394	N.A.
前年同期比（%）	-5.2	-1.5	+5.0	+11.1	+13.2	+15.6	N.A.
消費者物価指数（%）	7.23	6.61	5.90	5.12	4.94	5.42	5.10
失業率（%）	5.2	5.2	5.3	5.4	5.5	5.4	5.5
平均グロス給与（€）	1,607	1,710	1,717	1,681	1,706	1,726	N.A.
平均ネット給与（€）	981	1,043	1,050	1,030	1,041	1,054	N.A.

● 財務省（MF）

	2024/2	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8
財政収支（億 lei）	289.873	358.790	572.906	601.042	636.656	710.418	808.702
GDP 比（%）	-1.67	-2.06	-3.24	-3.40	-3.60	-4.02	-4.57

● ルーマニア中央銀行（BNR）

	2024/2	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8
政策金利（%）	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	6.75	6.50
外貨準備高（億€）	631.28	642.79	625.11	650.72	643.92	635.79	631.87
経常収支（億€）	-27.07	-39.45	-65.76	-91.75	-121.76	-151.78	N.A.
前年同期（億€）	-21.71	-39.64	-51.91	-68.79	-90.87	-113.28	N.A.
FDI（億€）	12.29	20.95	32.30	33.42	32.19	31.21	N.A.
前年同期（億€）	13.45	22.16	24.08	24.65	28.01	39.67	N.A.
前年同期比（%）	-8.62	-5.46	+34.13	+35.57	+14.92	-21.32	N.A.
中長期対外債務（億€）	1284.39	1290.63	1267.98	1309.97	1306.62	1318.51	N.A.
前年末比（%）	+5.5	+6.0	+4.1	+7.6	+7.3	+8.3	N.A.
短期対外債務（億€）	484.10	486.63	450.89	447.56	461.95	484.79	N.A.
前年末比（%）	+0.2	+0.7	-6.7	-7.4	-4.4	+0.3	N.A.

● **消費者物価指数（国家統計局（INS）・ユーロスタット）**

	2024/2	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8
消費者物価指数(%)	7.23	6.61	5.90	5.12	4.94	5.42	5.10
食料品価格(%)	4.48	2.81	2.07	1.24	1.10	1.71	4.25
非食量品価格(%)	7.82	8.06	7.17	6.38	6.28	6.92	4.35
サービス価格(%)	11.00	10.20	10.05	9.29	8.81	8.52	8.60
ユーロ圏平均	2.6	2.4	2.4	2.6	2.5	2.6	2.2
EU27 カ国平均	2.8	2.6	2.6	2.7	2.6	2.8	2.4

● **業種別（前年同期比）（国家統計局（INS）・ユーロスタット）**

	2024/2	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8
鉱工業							
工業生産高(%)	-2.2	2.8	3.6	-6.5	0.5	-3.9	N.A.
工業売上高(名目)(%)	8.2	-0.5	18.8	-7.1	2.8	10.5	N.A.
工業製品物価指数(%)	-6.3	-7.9	-4.0	-1.0	1.1	2.6	2.7
新規工業受注高(名目)(%)	6.4	-5.2	8.5	-7.2	-3.4	7.5	N.A.
小売業							
小売業売上高(除:自動車・バイク)(%)	7.1	4.3	9.5	6.1	10.0	7.4	9.2
自動車・バイク売上高(%)	2.7	0.9	11.4	-3.3	-0.4	2.3	N.A.
小売業売上高 ユーロ圏平均(%)	-0.7	0.7	0.0	0.3	-0.3	-0.1	0.8
小売業売上高 EU 平均(%)	-0.2	2.0	-0.1	0.6	0.1	0.4	1.0
建設業							
工事(%)	-5.9	-1.2	13.1	-1.7	-0.4	-2.3	N.A.

(2) **主要経済関連**

● **8月のインフレ率は5.1%**

➢ 9月11日、国家統計局は、8月のルーマニアのインフレ率が5.1%（7月は5.4%）だったと発表した。

● **ルーマニアのインフレ率は6ヶ月連続でEU最高**

➢ 9月18日にEU統計局ユーロスタットは、ルーマニアが8月まで6ヶ月連続でEU加盟国の中で最も高いインフレ率を記録した旨の発表をした。EUの8月インフレ率は2.4%。

● **フィッチ・レーティングス ルーマニアの2024年財政赤字はGDPの7%と予想**

➢ 9月17日、フィッチ・レーティングスは、ルーマニアの2024年の財政赤字がGDPの7%になり、EUで最高水準になる旨の予測レポートを発表した。ルーマニアは、パンデミック発生以前からEUの過剰財政赤字対策の下にあり、欧州委員会に対し、3%制限に向けて格差を縮小するために2024年から7年間の期間を認めるよう要請しているが、その目標に到達するための明確な計画はまだ示されていない。

● **国家戦略予測委員会、2024年の経済成長率予測を2.8%に下方修正**

➢ 9月19日、ルーマニア国家戦略・予測委員会は、ルーマニアの2024年の経済成長率予測を従来の3.4%から2.8%に下方修正し、国内総生産はほぼ1兆7690億レイ（約3552億ユーロ）になると発表した。発表によると、2025年のGDP成長率は3.5%、2026年は3.7%、2027年は3.3%、2028年は2.9%の見込み。今年度のCNSPの推計では、最終消費は4.5%増、投資は5.8%増となる。年末のインフレ率は4.5%と中央銀行の目標である4%を上回ると予想され、来年は3.8%、2026年には2.9%まで低下する見込み。また、2024年の平均手取り月給は14.8%上昇し、5,066レイになる見込み。

- **EBRD、2024年のルーマニア経済成長率は5月時点の予想3.2%を大きく下回る1.4%にとどまると予想**
 - 9月26日、欧州復興開発銀行（EBRD）は、ルーマニアの2024年の経済成長率予測を下方修正し、1.4%に下方修正した。また、EBRDは2025年のルーマニアの経済成長率を、5月時点の予想水準より0.8ポイント低い2.6%と予測。

(3) エネルギー関連

- **グリーン・エネルギー回廊 地域のエネルギー安全保障に前進**
 - 9月3日、ブルドゥジャ・エネルギー相及びアブルデアン首相府官房長は、アゼルバイジャンからジョージア、ルーマニア、ハンガリーを經由してグリーン・エネルギーを開発・送電する「緑の回廊」の第8回閣僚会議を主催した。会議にはアゼルバイジャン・エネルギー相、ジョージア第一副首相兼経済・持続可能な開発相、ハンガリー外務・貿易相、ブルガリア・エネルギー相代理、欧州委員会エネルギー総局代表などが参加した他、各国の送電事業者の経営陣も出席した。会議では、今後数年間にこの投資を実施するプロジェクト会社「Green Energy Corridor Power Company」の本部をブカレストに設置することが決定し、各送電事業者の経営陣はプロジェクト会社の定款に署名した。この会社は、ルーマニアとジョージアを黒海経由で結ぶ高圧直流海底ケーブルプロジェクトを実施し、接続はハンガリー、アゼルバイジャンまで延長される。このプロジェクトは、国内および地域のエネルギー安全保障の強化、黒海流域における接続性の向上、供給源の多様化、再生可能エネルギー生産の潜在力の活用、国内エネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合の向上に不可欠な貢献となる。

(4) その他トピックス

- **中国リープモーター（零跑汽車）製電気自動車 9月からルーマニアで販売開始**
 - 9月24日、ステランティス社と中国リープモーターの合併会社「リープモーターインターナショナル」は、欧州でルーマニアを含む9カ国での販売を開始した。報道によると、コンパクトカーモデル「T03」の価格は19,900ユーロからで、Dacia Springよりも3,000ユーロ高い価格設定の見込み。
- **ルーマニア非居住の観光客 2024年上半期に96.5万人が30億レイ（約6億ユーロ）を消費**
 - 9月19日、国家統計局は、2024年上半期にルーマニアに滞在したルーマニア非居住の観光客は96.5万人となり、その消費総額は30億レイ（約6億ユーロ）に達した旨発表した。目的別では55.7%が出張で、総支出の58.6%を占めた。

外政

(1) ウクライナ関連

● ルーマニア政府、ウクライナ市民への一時金支給額と条件を規定

- 9月25日、ルーマニア政府は、ウクライナの武力紛争地域出身の特別な状況にある外国籍市民または無国籍者に対する一時金の支給額と条件を規定する緊急政令案を承認した。本緊急政令は6月末に発効した政令を改定したもの。同政令により、受益者は最大連続3ヶ月間の滞在費を補うための一時金（単身者の場合月750レイ、家族の場合月2,000レイ）を受給できる。
- 主な変更として、子連れでの申請の場合、子どもがルーマニアの教育機関に所属することが受給の条件となるが、教育機関の定員不足のため入学できないことを示す書類を提示した場合にも、登録条件が満たされたとみなすようになった。

(2) 要人往来

● ヨハニス大統領、国連総会に出席

- 9月24～25日、ヨハニス大統領は、大統領としての出席は最後となる今回、ニューヨークで開催された第79回国連総会に出席し、25日には国連総会本会議で演説を行った。演説ではゼレンスキー大統領の和平イニシアチブを全面的に支持する旨述べるとともに、ウクライナ産穀物の輸出を促進する上で、ルーマニアが果たした重要な役割を強調した。また、ガザ情勢については、敵対行為の終結を求めるとともに、二国家解決への支持を表明した。さらに、ルーマニアは国連安全保障理事会の拡大を支持しており、そこでは透明性と責任が規範となる旨述べた。

(3) 国際関係

● ルーマニア 欧州委員会副委員長の地位をEU加盟後初めて獲得

- 9月17日、ルーマニアの欧州委員会委員候補であったロクサーナ・ムンザトゥ欧州議会議員は、次期欧州委員会の「人材・技能・準備」担当の上級副委員長候補に選出された。

防衛・安全保障

(1) 事案・イベント等

● ロシア軍、新たな無人機攻撃を実施、ルーマニア領空内を通過

- 9月8日未明、ロシア軍はルーマニアとの国境付近で、ウクライナの民間施設や港湾インフラに対する一連の無人機攻撃を再開した。無人機は「ルーマニア領空内を通過」して、ウクライナ方面に飛行したとされる。
- 同日、国防省などの捜索チームがトウルチャ県ペリプラヴァ付近にてロシア製と思われる無人機の破片を回収した。

● ルーマニア軍、洪水被害復旧・被災者支援に従事

- 9月14日以降、ルーマニア軍の各部隊は、洪水の被害を受けたガラツィ県を中心に、住民避難や資材輸送などの洪水被害復旧・被災者支援に従事。

● ロシア製無人機の破片をルーマニア領内で発見

- 9月24日、国防省などの捜索チームは、トウルチャ県プラウル南部でロシア製無人機 Geran-2 の破片を発見した。

● ロシア軍、新たな無人機攻撃を実施、再びルーマニア領空内を通過

- 9月27日、ロシア軍はドナウ川チリア支流のルーマニアとの国境付近で、ウクライナの民間人や港湾インフラを標的とした新たな一連の無人機攻撃を実施した。無人機のうち1機は「ルーマニア領空内を通過（3分以内）した」とされる。

(2) 訓練・演習等

● チェコで Ample Strike 演習を実施

- 9月1～20日、チェコにおいて、NATOの共同演習 Ample Strike が実施され、ルーマニア軍から25名の兵士と、初となる IAR-330 ヘリコプター2機が参加し、近接航空支援や航空偵察などが演練された。

(3) 会談等

● 国防大臣、イスラエル国防大臣と会談

- 9月5日、トゥルヴァル国防大臣はチョラク首相とともに訪れていたテルアビブにおいて、イスラエルのギャラント国防大臣と会談を実施し、安全保障環境、防衛分野及び軍事技術分野における二国間協力、並びに NATO とイスラエルの協力の見通しに関する問題などについて話し合われた。

● 国防大臣、ウクライナの国防大臣と電話会談

- 9月12日、トゥルヴァル国防大臣は、ウクライナのウメロフ国防大臣と電話会談を実施した。
- トゥルヴァル国防大臣は、ウクライナ・コンタクトグループの調整の下で実施されるウクライナ支援の取り組みに引き続きコミットし、ウクライナのパイロットがルーマニアの欧州 F-16 訓練センターで実践的な訓練を開始する条件確保のための準備ができていることを強調した。
- ウメロフ国防大臣は、ロシアによる侵略戦争の開始当初からのルーマニアによる人道的、外交的な支援のみならず、穀物輸出支援やパトリオットミサイルシステムの供与に関する決定などについて感謝の意を表した。

● ブカレスト9国防大臣会合の開催

- 9月18日、議会宮殿にてブカレスト9（B9）国防大臣会合が開催され、黒海地域と NATO の東翼の安全保障状況について、ロシアが依然として NATO の安全保障に対する最も重要な脅威であり、ハイブリッド脅威が増加している旨が強調された。会合の最後に、NATO の防衛力強化とロシアの脅威に対する対応、ウクライナ支援の重要性などを含んだ、B9 国防大臣共同声明を採択した。
※ B9 はルーマニア、ブルガリア、チェコ、エストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド、スロバキア、ハンガリー及びポーランドから構成される NATO 東翼諸国の安全保障の協議体。

(4) 人員・装備品・防衛産業など

● 国防省、F-35 取得に関する米国議会からの通知を歓迎

- 9月13日、国防省は米国議会から送られた、基金計画「第5世代多用途戦闘機 F-35」に関する対外有償軍事援助（FMS）プログラムを通じたルーマニア空軍への32機の F-35 取得に関する米国議会からの通知を受けた旨を発表すると共に、これを歓迎した。
- 報道によれば、ルーマニアは第2段階として同型機を16機追加で取得する予定であり、先の32機の取得とともに実現されれば、ルーマニアは中欧及び東欧で最大の F-35 運用国となる。

● ウクライナ、ルーマニア国内にウクライナ前線向け弾薬などの製造工場の建設を交渉中

- 報道によれば、ウクライナ防衛企業協会は、ルーマニア国内に、ウクライナ前線向けの弾薬、無人機、装甲車などの製造工場を建設することで、ルーマニアの Patromil 社などと交渉中であるとされる。

我が国との関係

(1) 二国間関係全般

● 参議院代表团、チウカ上院議長らと会談

- 9月2日、ルーマニアを公式訪問中の長浜博行参議院副議長、谷合正明参議院議員、井上哲士参議院議員は、ルーマニア上院を訪問し、チウカ上院議長、クンペアヌ副議長、アナスターセ上院事務局長と会談し、日・ルーマニア戦略的パートナーシップに基づき、議会間交流をはじめ様々な分野での両国間の交流の更なる発展・深化等につき活発な意見交換が行われた。



● 参議院代表团、チョラク首相と会談

- 9月3日、ルーマニアを公式訪問中の長浜博行参議院副議長、谷合正明参議院議員、井上哲士参議院議員は、首相府を訪問し、チョラク首相と会談し、日・ルーマニア戦略的パートナーシップに基づき、ますます活発化する両国の、とりわけ経済分野での関係性の更なる発展・深化等につき活発な意見交換が行われた。



● 片江大使、バルブ農業・地方開発相を表敬訪問

- 9月18日、片江大使はバルブ農業・地方開発相を表敬訪問した。懇談では、日本で開催される国際博覧会や農業分野での日・ルーマニアの協力関係の更なる発展について意見交換が行われた。



● 片江大使、ポロシュ財務省を表敬訪問

- 9月30日、片江大使は、ポロシュ財務相を表敬訪問した。懇談では、日ルーマニア両国が戦略的パートナーとして、IT・エネルギー・インフラ分野といった戦略的分野における両国間の経済関係・投資の更なる促進、国際協力銀行（JBIC）とルーマニア財務省との更なる連携強化、来年の大阪・関西万博におけるルーマニア側の積極的な参加等について意見交換が行われた。



(2) 広報・文化関係

● 東欧最大の Comic Con で日本文化の PR

- 9月13～15日、ブカレストのナショナル・アリーナにて East European Comic Con が開催され、在ルーマニア日本国大使館、日本政府観光局、日本貿易振興機構等が出展した。
- 日本文化ワークショップエリアでは「墨絵パフォーマンス」、「墨絵ワークショップ」、「盆踊り体験」「折り紙法被デコレーションワークショップ」などが行われた他、日本酒のテイスティングや日本茶のテイスティングが行われた。

